

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第362回

ウェイン・グレッツキー

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年6月28日

編集委員：入試広報室 鈴木

## 今回の言葉

You miss 100% of the  
shots you don't take.

打たないシュートは、100%外れる。

ウェイン・ダグラス・グレッツキーは、カナダ連邦オンタリオ州ブランドフォード生れの元プロアイスホッケー選手。ポジションはセンター。ショットは左利き。オアダー・オブ・カナダ受賞者。現役引退後はNHL フェニックス・コヨーテズの共同経営者兼ヘッドコーチを務める。



## Column

以前このコラムでよく似た意味の言葉を紹介しましたが、何度でも伝えていきたい言葉であり、これからも何度もみなさんに襲ってくる迷い、恐れる瞬間にこの言葉を思い出すことで、折れそうな自分の心を奮立たせてほしいという思いで今回も紹介します。私も過去に自分の心がGOサインを出しているのに躊躇し、諦めたことが何度もあります。GOサインを出しているのも、躊躇してしまうような“できない理由”を次々に見せつけてくるのも自分です。中にはどうしてもやれないこともありました。でも、不思議なことに本気で心残りになったことは再度そのチャンスがやってきました。これまでに全て再チャレンジできたわけではありませんが、きっとそれは“まだ”そのタイミングが来ていないだけなのかもしれません。

屁理屈のようですが『打っていないから外れてない』とも思います。アイスホッケーという競技は時間制限がありますが、人生の時間制限は命ある限り続きます。“思い立ったら即行動”という意見もありますが、先に述べたように必ずと言っていいほど躊躇する瞬間と、その瞬間には正当な理由に感じる“できない理由”が心を占領し、結果的に諦めた自分を責めることもよくあることです。シュートが外れても、次の挑戦を躊躇するより“次は失敗する可能性がひとつ減った！”と思える自分でいられたら素晴らしいと思います。まずは、自分の挑戦を自分自身が誰よりも応援する気持ちを持ちましょう！誰もが自分の人生を必死で生きています。しかし、その中でやはり仲間の存在は大きなものです。仲間同士で自分の成功や失敗を見せ合ひましょう。自分がシュートを打っていない時、仲間が打っているわけです。仲間を自分と同等に応援することで、勇気も挑戦の機会も倍増します。不安や怖れは半分になります。様々な機会がこれからも皆さんに訪れます。誰にも止められないシュートが打てる自分に成長し、その機会に期待する自分になっていきましょう！